

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	31	-	1	基本事務事業名	青少年育成センター事務	事務事業名	青少年育成センター事務	公的関与	4	シート作成日	平成24年6月28日					
	部局名	教育委員会		課名	青少年育成センター	主務課長名	大塚 正己		シート作成者名	中井 卓							
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(5) 青少年の健全育成				<input type="radio"/> 1 該当		平成		年	~	平成		年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1) 健全育成体制の整備				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内青少年													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	環境浄化と子どもたちにとって住みよいまちづくり、また青少年の非行防止と健全育成を図ります。												
				今年度	関係機関・団体を中心とした非行防止や有害環境の浄化、補導などの活動を促進し、健全な社会環境づくりを進めます。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	警察、関係機関との連携による補導活動、児童の登下校時のパトロール																
	健全育成活動の実施(親子ふれあい「手づくり工房」・自立支援活動・広報活動(非行防止標語・ポスターの募集・リーフレットの作成配布など))																
	環境浄化活動の推進(白いポストを利用した有害図書・ビデオ類の回収)																
	相談活動(青少年、保護者及び関係機関)																
	HPへの不審者情報の掲載、パトロール時やケーブルテレビでの広報活動																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標								
	補導活動回数	子どもたちの安全及び犯罪行為の予防として		回	目標	85	55	55	60								
					実績	52	47										
	有害図書類の回収	環境浄化活動の一つの指標として		回	目標	77	70	70	70								
					実績	60	65										
	防犯教室の開催	小中学生の防犯意識向上の指標として		回	目標	10	10	10	10								
					実績	7	9										
	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	青少年育成センター費			
DO	直接事業費	平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考									
		国庫支出金	千円		千円		千円										
		県支出金	300 千円		300 千円		千円										
		地方債	千円		千円		千円										
		その他特定財源	千円		千円		千円										
		一般財源	2,774 千円		2,839 千円		3,351 千円										
	計(A)	3,074 千円		3,139 千円		3,351 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.125 人	745 千円									
		臨時・嘱託職種	青少年育成センター-指導員		青少年育成センター-所長		青少年育成センター-所長										
		臨時・嘱託工数・経費	3.000 人	5,688 千円	3.000 人	5,760 千円	3.000 人	5,760 千円									
全体事業費(A+B)		8,762 千円		8,899 千円		9,856 千円											

		CHECK									
		一次評価		二次評価							
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	青少年の非行・犯罪は増加傾向にあり、凶悪犯罪や親に対する犯罪も増えています。また不審者の出没もあり、青少年が大きな事件に巻き込まれる恐れがある今、育成センターの活動が必要不可欠です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	街頭補導、長期休業中及び市内行事開催時の合同補導、巡回指導、またHPへの不審者情報掲載などで効果を上げています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	目標は概ね達成しています。22年度の補導件数は8件、相談件数は98件と増加している一方、不審者による被害案件は減少しており、補導活動(パトロール)や啓発活動などの成果が現れていると思われます。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	コストに比べて十分な効果が得られていると考えます。効果を更にするためには、新たな制度等の活用も考えられます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	昨今の国の情勢と同様に青少年の犯罪が増加しており、特に凶悪犯罪が低年齢化しています。親子間での意思疎通が上手くいかないこと、また世の中のIT化により様々な情報が簡単に手に入るようになったことなどが原因です。そういった環境の中で、青少年の心の変化をいち早く捉え、地域をあげて青少年を指導・援助する体制が必要です。また、青少年の就労支援も育成センターの課題であると思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	警察、地域住民の方々及び地域安全会等関係機関との連携を密にし、防犯パトロールにより力を入れるとともに、不審者情報にいち早く対応できる連絡体制の構築を行っていきます。また、青少年の就労支援については、ハローワークや関係機関と連携を図っていきます。					関係機関との情報を共有し、さらに事業を推進します。					
委員会指摘事項											